

1月16日(木) 町民説明会 (多目的研修センター)

町民側の出席者 議員： 6名(立野、那須、矢口稔、大出、服部、薄井)

一般町民： 13名

主宰者側 策定委員： 委員長、副委員長含め11名

町： 町長以下9名 コンサル： 環境計画 1名

勝山町長 (社総交は) 国の補助4割という今までにない条件で、過去の課題解決、公民館建て替えという町民の負託に応える事業。スムーズな実行に道をひらいてほしい。

井口委員長 策定委員会で検討の結果、資料にまとめたので事務局より説明する。

大沢係長 資料に基づいて説明。(策定委員会でのまとめ通り報告。会染保育園、安曇病院などの新しい状況には全く触れず)

平林教育長 交流センターについて 構想の説明(資料あり)。

<意見>

太田 財政問題について「問題ない」と書いてあるが、昨年の説明会でのシミュレーションそのままではないか。安曇病院、会染保育園などの問題が(シミュレーションには)加わっていない。会染保育園は、前回の説明では「耐震補強」すれば3000万円ですむという話だったが、新聞報道では、「建て替え」を決めたとなっている。これは耐震補強以外にも問題があるということだ。

建て替えを考えるとどれくらいの(実質公債費)比率になるのか。策定委員会での議論の基盤が違ったものになる。策定委員会をやり直して欲しい。これでは影響がないとはいえないではないか。

また、交流センターについて、前回ランニングコストを明らかにして欲しいという要望がでた。今回これが出されていない。

副町長 安曇病院は40億円の建設費に対して、県から7億円、近隣市町村で10億円の要望がある。現在(近隣で)調整中だが、大町、安曇野市などが難色を示しており、地元の責任を果たすという意味で半分(5億円)出す決意だ。

会染保育園については、耐震診断の結果補強が必要であるという結論で3300万円と見積もった。町としてはできるだけ補強ですむならと議会と話したが「建て替えた方がよい」という方向が示された。

15日には保護者との話し合いがあったようだが、どうするか考えていきたい。

それらが決まれば財政シミュレーションができることになる。国では実質公債費比率を財

政判断の材料にしている。(これまでと同様に 18.9%でレッドカード・・・の話)。今後は財政シミュレーションの中で 18%に近づかないようにしたい。17 億円の貯金はあるが、借り入れしなければならないときは借り入れ、できるだけ低くなるようにする。たとえば返済を 20 年とすれば比率は下がる。11~12%以下に抑えたい。保育園建て替えと決めた場合でも抑えて実施し、これに社総交が加わっても(社総交の議論の)前提は崩れない。17 億の貯金から 27 年~31 年で 5 億円崩す。のこり 4 億 4 千万円を 5 年間で 9 千万円ずつ借り入れを実施したい。

教育長 ランニングコストは具体的には検討していない。「すずの音」では 1 千万円弱と聞いている。

立野(議員) 副町長の説明はよくわかる。だが財政計画の中で、(説明資料の) 2 ページ、6 ページで「財政に大きな影響はない」「財政が悪化することは考えていない」とある。この資料だけ見ると町民は「町の計画でいいのではないか」となる。副町長の説明で 7%が 12%になるというのだから、影響がないはずはない。よってこのような書き方をすべきではない。

副町長 「悪化するような影響はない」という意味だ。安曇病院、会染保育園で実質公債費比率はおそらく(言いよどみつつ) 11%くらいにはなるだろう。実質公債費比率は一年間に使えるお金に対する借金返済にあてる割合だから、全体から見ると悪化するほどではない、ということだ。

立野 影響はあるが、極力それを少なくしましょうというのならわかる。影響があるんだから、このように書く必要はない。

那須(議員) 保育園での保護者との話し合いの席上、保育課長は「建て替えると 5 億円もかかる。そうすれば実質公債費比率が H34 年には 16%まで上がる。だから耐震補強をお願いしたい」と言っていたではないか。場所によって説明が違う。

町長 自分が町長になったときには実質公債費比率は 18.6%だった。県下でも最下位のほうだった。しかし、今は 7.8%で県下 20 位、大北ではトップだ。財政は一步よかった。社総交で大きな町民課題を解決するには計画的にやる必要があるで、(社総交は) 一石三鳥、5 年でやるということだ。そうした対応でも 18.6 にはならない。

服部(久)(議員) 保育園の保護者会で保育課長は「改築すれば保護者に負担もあるかもしれない。何年かかるか分からない」と、財政がいかにか大変か説明していた。保育園は現

状から見て建て替えるしかない。社総交を減らしても保育園建て替えを優先的にやるのが大事だ。

町長 保育園をすべて新築すれば5億円かかる。また早期にやらなければならない。社総交は過去の課題、町民の負託に応える大きな使命をもっている。

副町長 安曇病院、保育園については決まったときに財政シミュレーションをし直さなければならない。何パーセントになるかは借り方による。苦しいときは10年を20年、25年（返済）にしてゆとりをもってやり、パーセントが上がらないようにする。

服部（久） 保護者会での保育課長の説明は、安曇病院、社総交も持ち出して何とか耐震補強でという話だった。まず保育園を大事に考えるべきだ。社総交には曲がった道路や鶏小屋跡など無駄がある。優先順位を考えても保育園が先だ。

町長 現在策定委員会で最終原案をつくることになっている。策定委員会での原案のあと、議会で検討してもらう手順になっている。

太田 当初3回の説明会をやる予定だった。（新しい条件のもとで）策定委員会をもう一度やって、改めて説明会を開いてほしい。

委員長 まとめをやる日数を考えると、（もう一度説明会を開く）余裕があるかどうか。

町長 計画を1年延期し、2年にわたって13回の策定委員会を開いて議論をしてきた。多数決で（原案の骨子を決めて）今日ここまできている。タイムスケジュールに則ってやっている。2回の説明会で、策定委員会で最終原案をつくってほしいと考えている。

太田 議論不十分だ。

那須 道路3の入り口は私有地ではないのか。道路がつかれないということはないのか。

大沢係長 1丁目から西県道にはいるところは、県道沿いから西町川までを商業エリアとした。この部分については社総交から切り離しているが、道路については地権者が一人なので、協力してもらえることになっている。理解は得ている。

立野 社総交で「まちなか再生」をうたっているが、これはずっと以前から言い続けられてきた課題だ。施設を作ったから活性化が生まれるのか。これはコーディネーターに聞き

たい。

大沢 今回の話はアップランド閉鎖と関連がある。この土地の利用が決まらなるとますます町は活気を失う。建物をたてればすぐ賑わいが生まれるわけではないが、空間があくことに危機感をもっており、将来そこに商店や食堂ができ、町なかの活性化につながっていけばいいと思っている。1つの活性化のきっかけをつくることが大事だ。

米沢 第1回説明会のときに4億いっらの借金を減らして欲しいと要望した。しかし7千万円減っただけ。だれでも快適な環境は欲しいが、大事なのは借金しないこと。**4億円を減らすためにどこをどうするのかについて真剣に検討したのかどうか、ものすごく疑問で理解できない。策定委員会でもう一度真剣に考えていただきたい。**

服部（守） 最初は交流センターをどうするのかの1点にしばられていたように思うが、まちなか再生が一番大事なところだ。商業エリア、商店街をどうするのかの観点について何の説明もない。前回安曇病院周辺に商店をという意見を言ったが、それについても説明がない。何らかの（まちなか活性化の）道筋を計画のなかにもりこまない小さな話で終わってしまう。福祉会館について取り壊すとなっているが、これには反対で、活用の方向を考えてほしい。

委員長 まちなかの活性化は町民全体で考えていくべき。町の提案について検討しているところで、策定委員会ではそこまでは課題になっていない。必要な箇所があれば、それは検討したい。

内山 私は池田で生まれ育った。公民館は老朽化し（近隣とくらべても）遅れていると思ってきた。安曇病院への道路は町民あげて不便を感じてきた。これらは町の大きな課題だった。夢をもった前に向いた形で課題の解決に向かって欲しい。前は財政面から、よい状況（大きな影響はない？）という話だった。行政にこびへつらうわけではないが、（町の計画に）全面的に賛成するのでスピード感をもって推進されることに期待している。期日もせまっているので、よろしくお願ひしたい。
現町長の選挙の際のマニフェストと受け止める。公約実現は町民との約束だ。理屈抜き、悪いところは途中で直しながらすすめてほしい。

委員長 今回の意見を参考にし、優先順位をつけてという意見も考慮して、策定委員会で今後検討したい。意見がなければ閉会としたい。

矢崎副委員長 閉会

（8時45分終了）